

## 政策 11 「循環型社会の形成」

政策 11 「循環型社会の形成」は、資源を有効に活用し、廃棄物をリサイクルして環境にできるだけ負荷をかけない循環型社会の実現を目指す様々な施策で構成されている。

## 1. 政策 11 の認知度

## 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 54.9%、低認知度群は 45.1%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（58.5%）が女性（51.3%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（62.0%）が 65 歳未満（52.3%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、仙南圏域（45.3%）が、回答者全体と比較して 9.6 ポイント低い。

(%)

政策 11 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	6.5	48.4	54.9	37.0	8.1	45.1	100.0

性別	男性	7.8	50.7	58.5	34.7	6.8	41.5	100.0
	女性	5.4	45.9	51.3	39.5	9.2	48.7	100.0
年齢別	65 歳未満	5.3	47.0	52.3	39.3	8.4	47.7	100.0
	65 歳以上	10.2	51.8	62.0	30.9	7.1	38.0	100.0

圏域別	仙台	7.0	48.8	55.8	36.3	7.9	44.2	100.0
	仙南	4.2	41.1	45.3	44.1	10.6	54.7	100.0
	大崎	6.6	52.4	59.0	35.2	5.7	40.9	100.0
	栗原	8.4	48.1	56.5	34.7	8.8	43.5	100.0
	登米	6.0	52.1	58.1	33.5	8.4	41.9	100.0
	石巻	6.0	46.7	52.7	42.9	4.4	47.3	100.0
	気仙沼・本吉	7.5	49.8	57.3	33.9	8.8	42.7	100.0

有効回答者数 1,621 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 71.4%、低認知度群は 28.6%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(100.0%)が 28.6 ポイント、登米圏域(81.8%)が 10.4 ポイント、大崎圏域(77.3%)が 5.9 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域(61.9%)が 9.5 ポイント、仙台圏域(64.6%)が 6.8 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 74.3%、低認知度群は 25.7%である。

(%)

政策 11 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	9.2	62.2	71.4	25.5	3.1	28.6	100.0	
圏 域 別	仙台	8.6	64.6	29.3	6.0	35.3	100.0	
	仙南	9.3	63.0	72.3	25.9	1.9	27.8	100.0
	大崎	12.0	65.3	77.3	20.0	2.7	22.7	100.0
	栗原	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	登米	27.3	54.5	81.8	18.2	0.0	18.2	100.0
	石巻	9.5	52.4	61.9	38.1	0.0	38.1	100.0
	気山沼・本吉	2.8	72.2	75.0	25.0	0.0	25.0	100.0

有効回答者数 325 名

学識者等全体	18.2	56.1	74.3	24.2	1.5	25.7	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

## 2. 政策 11 の関心度

## 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 85.4%、低関心度群は 14.5%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（86.4%）が女性（84.7%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（88.7%）が 65 歳未満（84.3%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、高関心度群の割合に 5 ポイント以上差がある圏域はない。

（%）

政策 11 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心が あった	ある程度関 心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	33.9	51.5	85.4	12.0	2.5	14.5	100.0

性別	男性	36.9	49.5	86.4	11.3	2.3	13.6	100.0
	女性	31.1	53.6	84.7	12.7	2.6	15.3	100.0
年齢別	65 歳未満	28.9	55.4	84.3	13.3	2.3	15.6	100.0
	65 歳以上	48.0	40.7	88.7	8.4	2.8	11.2	100.0

圏域別	仙台	38.9	47.7	86.6	11.1	2.3	13.4	100.0
	仙南	33.6	46.9	80.5	15.8	3.7	19.5	100.0
	大崎	33.0	54.9	87.9	10.3	1.7	12.0	100.0
	栗原	37.5	49.1	86.6	11.2	2.2	13.4	100.0
	登米	33.9	52.9	86.8	10.9	2.3	13.2	100.0
	石巻	28.3	56.5	84.8	14.7	0.5	15.2	100.0
	気山沼・本吉	31.3	54.1	85.4	11.0	3.7	14.7	100.0

有効回答者数 1,655 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 87.9%、低関心度群は 12.1%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（100.0%）、気仙沼・本吉圏域（100.0%）では共に 12.1 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（80.9%）では 7.0 ポイント、仙台圏域（81.9%）では 6.0 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 95.5%、低関心度群は 4.5%である。

(%)

政策 11 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心 がなかった			
市町村職員全体	28.9	59.0	87.9	10.6	1.5	12.1	100.0	
圏 域 別	仙台	23.3	58.6	81.9	15.5	2.6	18.1	100.0
	仙南	42.9	46.4	89.3	10.7	0.0	10.7	100.0
	大崎	32.0	57.3	89.3	9.3	1.3	10.6	100.0
	栗原	14.3	71.4	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	25.0	75.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	石巻	33.3	47.6	80.9	14.3	4.8	19.1	100.0
	気仙沼・本吉	16.2	83.8	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0

有効回答者数 329 名

学識者等全体	47.0	48.5	95.5	4.5	0.0	4.5	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 66 名

### 3. 政策 11 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 39.8%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 36.5%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 80.0 点で、県民は「重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 25.8%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	9.8	(90.2)
満足度 60点未満の割合		49.6
要検討領域にある回答者全体の割合		39.8

有効回答者数；重視度 1,638人、満足度 1,622人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策11重視度	政策11満足度
度数	有効	1638	1622
	欠損値	83	99
平均値		78.24	55.07
平均値の標準誤差		.405	.447
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.383	17.985
分散		268.409	323.469
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	70.0	50.0	20.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	5.4	(94.6)
満足度 60点未満の割合		41.9
要検討領域にある回答者全体の割合		36.5

有効回答者数；重視度 336人、満足度 334人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策11重視度	政策11満足度
度数	有効	336	334
	欠損値	2	4
平均値		79.64	57.41
平均値の標準誤差		.801	.883
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		14.681	16.139
分散		215.544	260.465
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	55.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	80.0	60.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	75.0	55.0	20.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	90.0	70.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

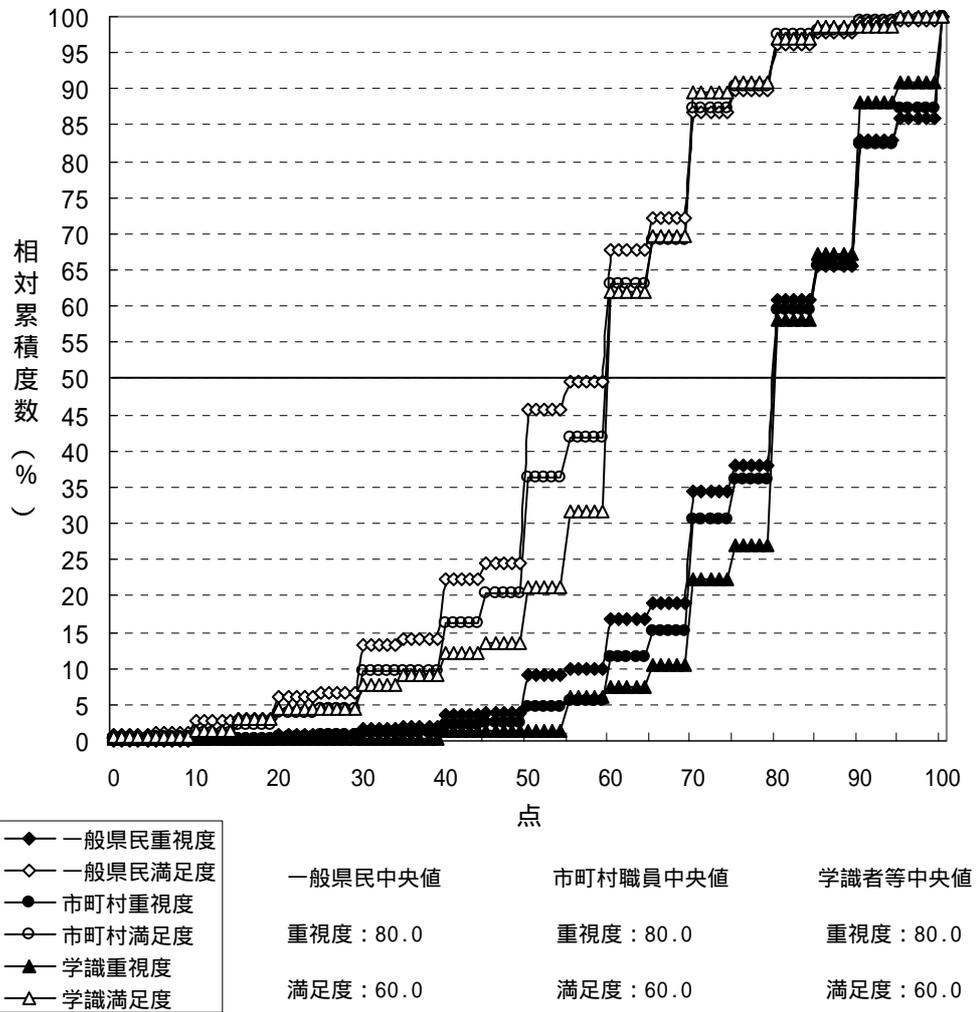
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	6.0	(94.)
満足度 60点未満の割合		31.8
要検討領域にある回答者全体の割合		25.8

有効回答者数；重視度 67人、満足度 66人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策11重視度	政策11満足度
度数	有効	67	66
	欠損値	2	3
平均値		80.90	59.24
平均値の標準誤差		1.469	1.889
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		12.027	15.348
分散		144.640	235.571
範囲		60	85
最小値		40	10
最大値		100	95
パーセンタイル	25	75.00	55.00
	40	80.00	60.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

「政策11 循環型社会の形成」



### 3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

#### 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、女性（60.0 点）が男性（55.0 点）よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性（25.0 点）が女性（20.0 点）よりも高い。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 43.0%、女性 36.7%と推定できる。

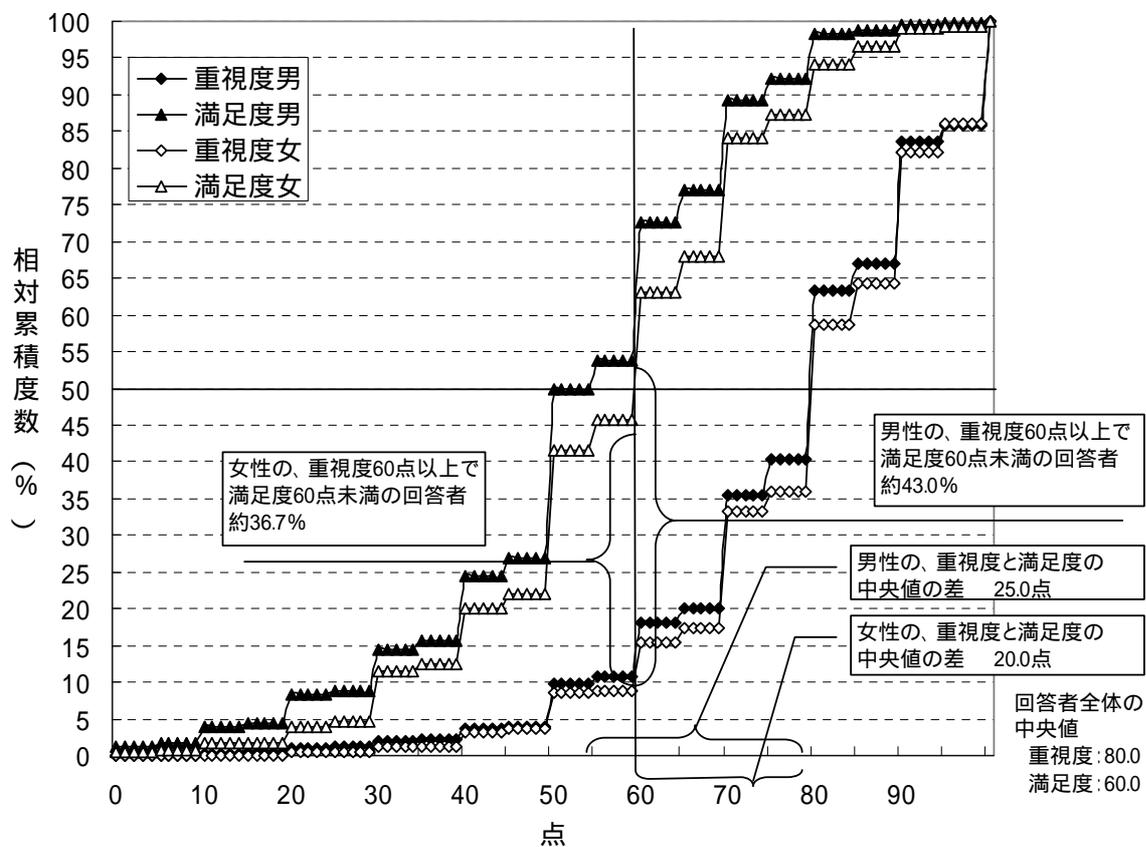
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	55.0	60.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	45.0	50.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	65.0	70.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	10.7 (89.3)	8.9 (91.1)
満足度 60 点未満の割合	53.7	45.6
要検討領域にある回答者全体の割合	43.0	36.7

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策11重視度	政策11満足度
度数	有効	777	771
	欠損値	26	32
平均値		77.56	52.95
平均値の標準誤差		.600	.652
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.736	18.096
分散		280.095	327.483
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	75.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	65.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策11重視度	政策11満足度
度数	有効	840	831
	欠損値	56	65
平均値		78.93	57.12
平均値の標準誤差		.546	.611
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.837	17.626
分散		250.800	310.690
範囲		80	100
最小値		20	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

## 3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 80.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満（55.0 点）が 65 歳以上（60.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（25.0 点）が 65 歳以上（20.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（12.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 39.8%、65 歳以上 39.6%と推定できる。

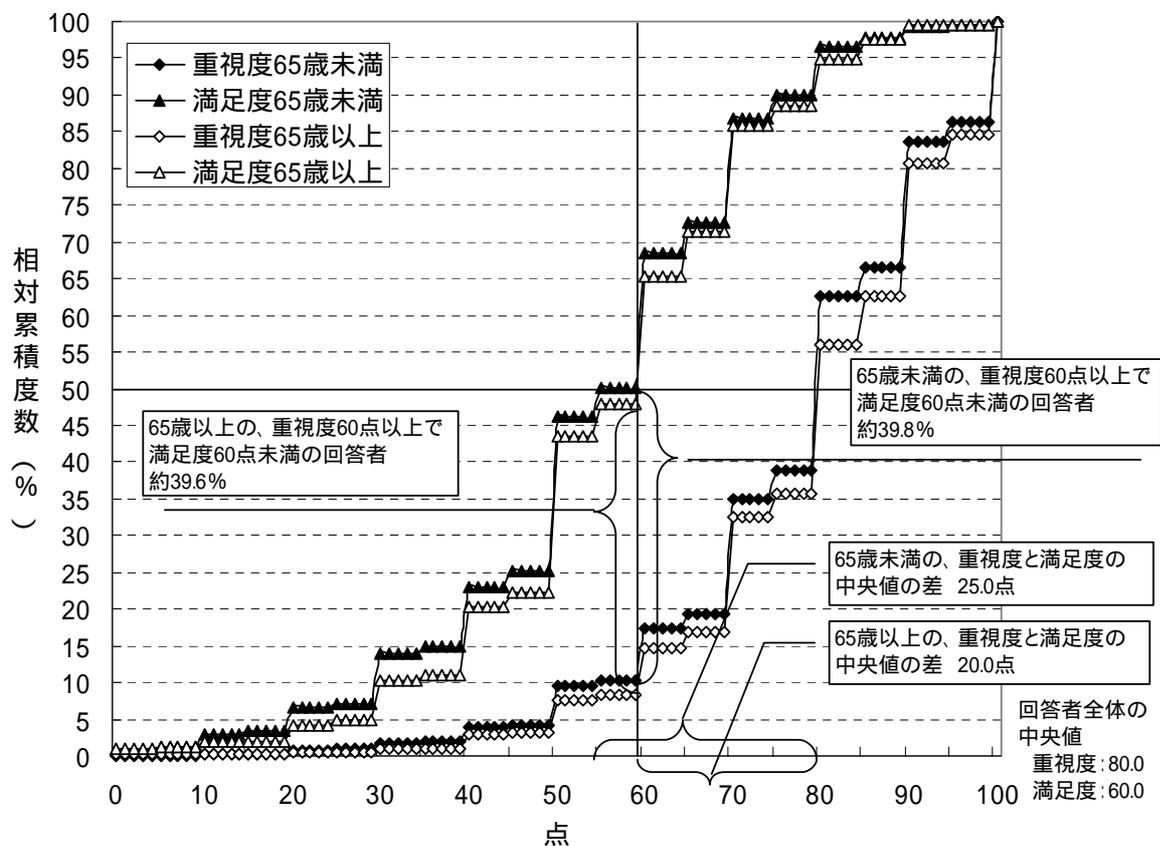
## 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	55.0	60.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	45.0	50.0
	かい離	20.0	25.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	70.0	70.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	12.5	10.0

## 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	10.3 (89.7)	8.2 (91.8)
満足度 60 点未満の割合	50.1	47.8
要検討領域にある回答者全体の割合	39.8	39.6

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策11重視度	政策11満足度
度数	有効	1199	1190
	欠損値	41	50
平均値		77.84	54.68
平均値の標準誤差		.476	.528
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.489	18.203
分散		271.877	331.353
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	45.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	90.00	70.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策11重視度	政策11満足度
度数	有効	416	410
	欠損値	41	47
平均値		79.58	56.37
平均値の標準誤差		.767	.853
中央値		80.00	60.00
最頻値		80	50
標準偏差		15.643	17.277
分散		244.702	298.497
範囲		80	100
最小値		20	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	70.00	50.00
	40	80.00	50.00
	50	80.00	60.00
	60	85.00	60.00
	75	90.00	70.00

### 3 3 圏域別 ( 一般県民、市町村職員 )

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 ( 80.0 点 ) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、仙南圏域 ( 50.0 点 ) が回答者全体 ( 60.0 点 ) よりも 10 ポイント、  
仙台圏域 ( 55.0 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 55.0 点 ) の 2 圏域が 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、すべての圏域が 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、仙南圏域 ( 12.5 点 )、栗原圏域 ( 12.5 点 )、気仙沼・本吉圏域 ( 11.9 点 ) の 3 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、回答者全体 ( 80.0 点 ) と 5 ポイント以上差のある圏域はない。

満足度の中央値は、栗原圏域 ( 65.0 点 ) が回答者全体 ( 60.0 点 ) よりも 5 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、仙南圏域 ( 7.5 点 )、栗原圏域 ( 7.5 点 )、登米圏域 ( 6.9 点 ) の  
3 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域 ( 12.5 点 )、石巻圏域 ( 12.5 点 )、栗原圏域 ( 11.3 点 ) の  
3 圏域が回答者全体 ( 10.0 点 ) よりも大きく、気仙沼・本吉圏域 ( 6.3 点 ) が小さい。

## 【一般県民】

## 中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値

(点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	55.0	50.0	60.0	60.0	60.0	60.0	55.0
	かい離	20.0	25.0	30.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	40.0	50.0	45.0	50.0	50.0	46.3
	かい離	20.0	20.0	30.0	20.0	25.0	20.0	20.0	23.8
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	満足度	70.0	70.0	65.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	かい離	20.0	20.0	25.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	12.5	10.0	12.5	10.0	10.0	11.9

## 【市町村職員】

## 中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値

(点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	82.5	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	65.0	57.5	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	25.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	70.0	70.0	75.0	70.0	75.0	75.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	50.0	51.3	45.0	47.5
	かい離	20.0	20.0	30.0	20.0	25.0	23.8	25.0	22.5
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	88.8	90.0	90.0
	満足度	70.0	70.0	65.0	70.0	75.0	73.8	70.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	25.0	20.0	15.0	15.0	20.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	7.5	10.0	7.5	6.9	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	11.3	12.5	6.3

#### 4. 政策 11 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 2 「廃棄物の資源化によるリサイクル」( 35.4% ) である。

第 2 位は施策 5 「県民や民間団体等の自発的なリサイクル活動の促進」( 17.1% ) である。

第 3 位は施策 3 「廃棄物の適正処理の推進」( 13.9% ) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 2 「廃棄物の資源化によるリサイクル」( 32.4% ) である。

第 2 位は施策 1 「廃棄物の排出量の抑制」( 15.8% ) である。

第 3 位は施策 5 「県民や民間団体等の自発的なリサイクル活動の促進」( 15.2% ) である。

学識者では、

第 1 位は施策 2 「廃棄物の資源化によるリサイクル」( 47.1% ) である。

第 2 位は施策 4 「3.廃棄物の適正処理の推進」( 13.2% ) である。

第 3 位は施策 4 「資源循環に配慮した企業活動の促進」( 11.8% ) と施策 6 「限りある資源の持続的な利用」( 11.8% ) である ( 施策 4 と施策 6 が共に第 3 位になっている )。

性別

一般県民では、

性別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、男性では施策 3 「廃棄物の適正処理の推進」、女性では施策 6 「限りある資源の持続的な利用」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

65 歳年齢区分別では、第 1 位から第 2 位まで、回答者全体と同じである。

第 3 位は、65 歳未満では施策 3 「廃棄物の適正処理の推進」と施策 6 「限りある資源の持続的な利用」、65 歳以上では施策 3 「廃棄物の適正処理の推進」である ( 65 歳未満では施策 3 と施策 6 がともに第 3 位になっている )。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 2 「廃棄物の資源化によるリサイクル」である。

第 2 位は、仙台、栗原、登米、石巻の 4 圏域では施策 5 「県民や民間団体等の自発的なりサイクル活動の促進」、仙南、大崎、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 3 「廃棄物の適正処理の推進」である。

第 3 位は仙台、石巻、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 6 「限りある資源の持続的な利用」、仙南、大崎の 2 圏域では施策 5 「県民や民間団体等の自発的なりサイクル活動の促進」、栗原、登米の 2 圏域では施策 1 「廃棄物の排出量の抑制」、石巻圏域では施策 3 「廃棄物の適正処理の推進」である（石巻圏域では施策 3 と施策 6 が共に第 3 位になっている）。

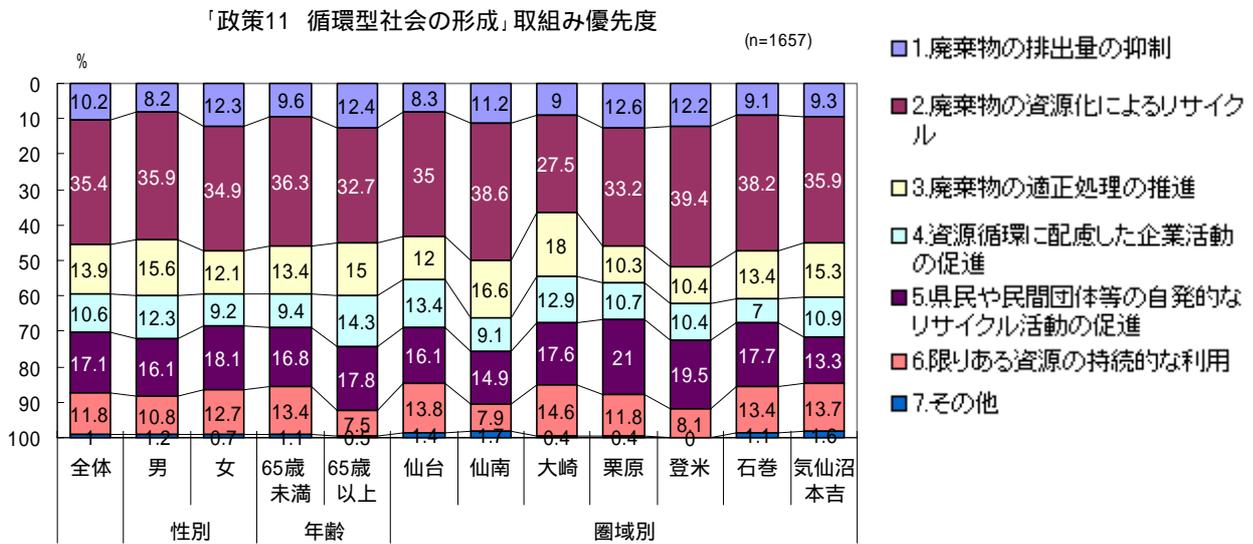
市町村職員では、

第 1 位は、仙台、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 2 「廃棄物の資源化によるリサイクル」、栗原、登米の 2 圏域では施策 1 「廃棄物の排出量の抑制」である。

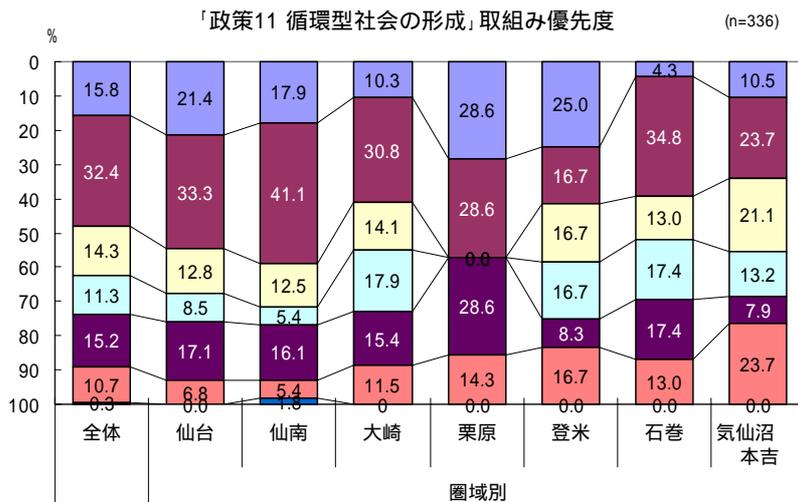
第 2 位は、大崎、登米、石巻の 3 圏域では施策 4 「資源循環に配慮した企業活動の促進」、仙台、仙南の 2 圏域では施策 1 「廃棄物の排出量の抑制」、栗原、登米の 2 圏域では施策 2 「廃棄物の資源化によるリサイクル」、登米圏域では施策 3 「廃棄物の適正処理の推進」、石巻圏域では施策 5 「県民や民間団体等の自発的なりサイクル活動の促進」、気仙沼・本吉圏域では施策 6 「限りある資源の持続的な利用」である（登米圏域では施策 2 と施策 3 と施策 4 の 3 圏域が、石巻圏域では施策 4 と施策 5 が共に第 2 位になっている）。

第 3 位は、仙台、仙南、大崎、栗原の 4 圏域では施策 5 「県民や民間団体等の自発的なりサイクル活動の促進」、気仙沼・本吉圏域では施策 3 「廃棄物の適正処理の推進」である。

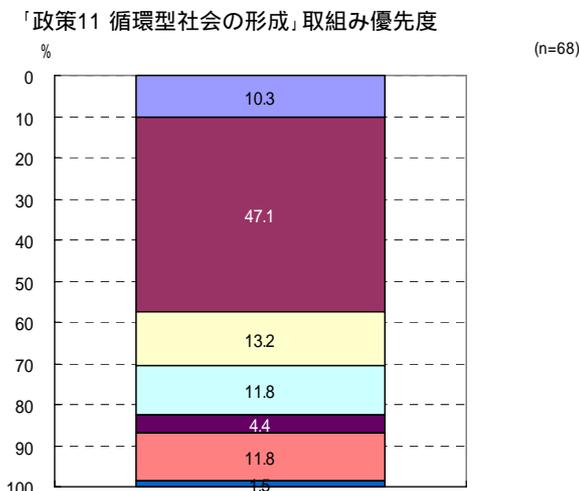
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 11 「循環型社会の形成」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.廃棄物の排出量の抑制	10.2	8.2	12.3	9.6	12.4	8.3	11.2	9.0	12.6	12.2	9.1	9.3
2	2.廃棄物の資源化によるリサイクル	35.4	35.9	34.9	36.3	32.7	35.0	38.6	27.5	33.2	39.4	38.2	35.9
3	3.廃棄物の適正処理の推進	13.9	15.6	12.1	13.4	15.0	12.0	16.6	18.0	10.3	10.4	13.4	15.3
4	4.資源循環に配慮した企業活動の促進	10.6	12.3	9.2	9.4	14.3	13.4	9.1	12.9	10.7	10.4	7.0	10.9
5	5.県民や民間団体等の自発的なリサイクル活動の促進	17.1	16.1	18.1	16.8	17.8	16.1	14.9	17.6	21.0	19.5	17.7	13.3
6	6.限りある資源の持続的な利用	11.8	10.8	12.7	13.4	7.5	13.8	7.9	14.6	11.8	8.1	13.4	13.7
7	7.その他	1.0	1.2	0.7	1.1	0.5	1.4	1.7	0.4	0.4	0.0	1.1	1.6

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.廃棄物の排出量の抑制	15.8	21.4	17.9	10.3	28.6	25.0	4.3	10.5
2	2.廃棄物の資源化によるリサイクル	32.4	33.3	41.1	30.8	28.6	16.7	34.8	23.7
3	3.廃棄物の適正処理の推進	14.3	12.8	12.5	14.1	0.0	16.7	13.0	21.1
4	4.資源循環に配慮した企業活動の促進	11.3	8.5	5.4	17.9	0.0	16.7	17.4	13.2
5	5.県民や民間団体等の自発的なリサイクル活動の促進	15.2	17.1	16.1	15.4	28.6	8.3	17.4	7.9
6	6.限りある資源の持続的な利用	10.7	6.8	5.4	11.5	14.3	16.7	13.0	23.7
7	7.その他	0.3	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.廃棄物の排出量の抑制	10.3
2	2.廃棄物の資源化によるリサイクル	47.1
3	3.廃棄物の適正処理の推進	13.2
4	4.資源循環に配慮した企業活動の促進	11.8
5	5.県民や民間団体等の自発的なリサイクル活動の促進	4.4
6	6.限りある資源の持続的な利用	11.8
7	7.その他	1.5

